

第4回奈良県中小企業会館等活用検討委員会の議事概要

- 1 日 時：令和4年7月19日（火） 10時30分～11時30分
- 2 場 所：アクティ奈良 6階 会議室
- 3 出席者：（委員）中山委員長、北口委員、下山委員、福井委員、二神委員
（事務局）産業・観光・雇用振興部 谷垣部長、今仲次長、通山次長
企業立地推進課 大内課長 他
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 議事

(1) 開会の挨拶 谷垣部長

(2) 奈良県中小企業会館等の活用検討について

ア 事務局から資料に基づき説明

イ 意見交換

<委員からの主な発言は、次のとおり>

- ・ 第2段落目の「質の高いおもてなしの提供ができるホテル」は、「質の高いおもてなしが提供できるホテル」の方が適切ではないか。
- ・ 第3段落目の「誰でも訪れたいくなる」の部分は、リピーターの獲得を想起させるよう「誰もが何度でも訪れたいくなる」という表現にしてはどうか。
- ・ 第4段落目は、異なる内容の文章が2つあることから、それぞれで段落を分けた方がよいのではないか。
- ・ 第4段落目の「また、奈良が有する世界的に秀逸な価値（歴史、文化、伝統、景観等）を継承し、中長期にわたり、継続・発展できるホテルが望ましい。」の文章を「奈良が有する世界的に秀逸な価値（歴史、文化、伝統、景観等）を今後長期にわたり継承し、発展につながるホテルが望ましい。」とした方がよいのではないか。

- ・ 第4段落目の「中長期にわたり」の部分は「長期にわたり」の方がよいのではないか。
- ・ 第5段落目の「民間のノウハウが必要であることから」の部分は、「民間」という言葉が多数出ていることから「多角的なノウハウが必要であることから」の方がよいのではないか。
- ・ 第5段落目の「民間の創意工夫を活かし、継続的な運営ができる民設民営の上質なホテルの設置が望ましい。」という部分は「民間の創意工夫を活かした民設民営で、かつ、継続的な運営ができる上質なホテルの設置が望ましい。」とした方がよいのではないか。

今後

今回の委員会で頂いた意見をもとに答申（案）を修正。文言の最終的な調整は委員長と事務局に一任。最終案を全委員が確認した後、知事に提出することとなった。